

平成23年度 研究部活動報告

研究部長 北原延晃（港区立赤坂中学校）

1. 夏の語い指導ワークショップ

今回で9回目を数える夏の語い指導ワークショップは例年にならい今年も3日間、3カ所で開催した。ただし今回は東日本大震災の影響による電力節約の観点から午前のみ開催とした。例年通り、多くの参加があった。今年度は参加費無料で行った。

2. 今年度の研究内容

辞書指導(2)[ジュニア版辞書調査と辞書指導の実際]

現在市販されている10種類のジュニア版英和辞書を調査・研究した。来年度からの新学習指導要領で辞書指導の充実がうたわれている。先生方が辞書を選ぶ際の参考になるようにさまざまな観点から調査した。ぜひご活用願いたい。また辞書を使ってどんな効果があったのかの調査もした。この調査からはさまざまな発見や生徒の変容がわかり辞書指導の有効性が確認された。先生方もこの調査結果を参考にしていきたい。

研究の詳細は研究部ホームページ(<http://www.eigo.org/kenkyu>)を参照のこと。（「都中英研研究部」で検索可能）

3. 公開授業および研究発表

2月23日に江戸川区立篠崎第二中学校にて公開授業および研究発表を開催した。同校の上尾栄美子教諭が2年生の授業を行った。研究部の語い指導、辞書指導も織り交ぜた活発な授業であった。研究発表は太田恵理子教諭（江戸川区立西葛西中学校）が行った。短時間ながら要点をしっかりと押さえた発表だった。指導助言は玉川大学文学部教授の日臺滋之先生だった。もと中英研研究部員であったことから研究部や中学校英語教育について理解が深く、我々の知りたいこととお話いただいた。参加者の満足感の高い講演内容だった。